

従業員各位

## 【重要】職場における SNS 利用に関する注意喚起

近年、「BeReal（ビーリアル）」の利用において、職場の機密情報や顧客データが意図せず映り込み、拡散される事案が社会問題となっています。BeRealに限らず、業務で SNS を活用する場合についても、以下のような点に注意してください。

### 1.従業員が遵守すべき事項

- **執務エリアでの撮影禁止:** PC 画面、重要書類、顧客情報が存在するエリアでの撮影・投稿は一切禁止します。
- **撮影前の「背面」チェック:** 背面に何が映っているかを必ず確認してください。

### 2.職種・シチュエーション別 映り込み NG 事例集

#### 2-1.事務・オフィス環境

- **NG 事例：デスクでの自撮り**
  - **映り込み内容:** パソコンのモニター画面（顧客リスト、受信メール、未発表の企画書）、デスク上の付箋（ログイン ID やパスワードのメモ）、社外秘の資料。
  - **リスク:** 顧客の個人情報漏洩やサイバー攻撃のきっかけとなります。
- **NG 事例：会議室での様子**
  - **映り込み内容:** ホワイトボードに書かれた戦略図や数値目標、配布された会議資料、プロジェクターの投影内容。
  - **リスク:** 企業の競争力の源泉である機密情報が流出し、取り返しのつかない損害を与えます。

#### 2-2.金融機関（銀行・保険など）

- **NG 事例：窓口やカウンター越しの撮影**
  - **映り込み内容:** 顧客の通帳、キャッシュカード、本人確認書類（免許証等）、伝票の控え。
  - **リスク:** 最も厳匿すべき顧客情報の流出であり、銀行法違反や社会的信用のリスクがあります。
- **NG 事例：バックヤード（金庫室付近など）**
  - **映り込み内容:** 金庫の構造、警備システムの操作パネル、鍵の管理状況。
  - **リスク:** 防犯上の致命的な脆弱性を晒すことになり、犯罪を誘発する恐れが

あります。

### 2-3. 医療・介護現場

- **NG 事例：ナースステーションでの投稿**
  - **映り込み内容:** 電子カルテの画面、ナースコール掲示板（患者名）、処方薬のラベル。
  - **リスク:** 患者のプライバシーおよび病歴情報の漏洩であり、法的な損害賠償請求の対象となります。
- **NG 事例：診察室や待合室**
  - **映り込み内容:** 検査画像（レントゲン等）、他の患者の顔、診察予約表。
  - **リスク:** 他者のプライバシーを侵害する「違反コンテンツ」とみなされるおそれもあります。

### 2-4. 飲食店・小売店

- **NG 事例：レジ周辺での撮影**
  - **映り込み内容:** POS レジの管理画面（売上速報）、クレジットカードの控え、従業員向けの連絡事項。
  - **リスク:** 営業数値の流出や、カード情報の不正利用リスクを招きます。
- **NG 事例：休憩室やバックヤード**
  - **映り込み内容:** シフト表（フルネームと勤務時間）、清掃チェックリスト、社内ポータル画面。
  - **リスク:** 従業員のプライバシー侵害や、勤務実態の意図しない公開につながります。